



岡本眞利子
議員
(政風クラブ)

問 明野ヶ丘公園は開基80周年記念事業として植樹を行ったことが公園の始まりで、四季を通じて、子供達が集まる公園と位置づけをした。平成8年には展望施設「ピラリ」が造られ、幕別の大パノラマが一望できる総合公園である。以下の点について伺う。

- (1) 明野ヶ丘公園の利用状況。
- (2) 点検、整備について。
- (3) パークゴルフ場利用状況。
- (4) イベント等を開催しない理由。
- (5) 今後、公園の維持管理。

町長 (1) 小学校の遠足や朝夕の散策のほか、斜面を利用した運動部のトレーニングやパークゴルフなどに利用されている。
(2) 年度当初に専門業者により公園の一般施設と遊具の点検を行っている。

平成23年度に危険遊具の撤去と補修工事を行い、平成24年度にはトイレなどを含む休憩施設の改築

問 明野ヶ丘公園の施設整備について
答 平成27年度からの次期5カ年計画として再整備の検討を行いたい

を実施している。

再整備は他の公園含め、平成27年度からの次期5カ年計画として検討を行いたい。

- (3) 平成24年度で約5900人の利用があったものと推計している。
- (4) 芝桜まつりはスキー場としての利用、また土壌も良質ではないということから芝桜の育成不良等により廃止となった経緯があるが、パークゴルフ大会や町内外の小学校の遠足、音楽ライブなどは実施されている。
- (5) 遊具等の点検や小規模修繕等は公園施設管理委託業務において実施する。

問 選挙投票率アップに向けてさらに有効な方策がないか研究していきたい

問 平成15年12月施行の公職選挙法の一部改正により、期

日前投票制度が創設され期日前の投票手続きの簡素化が図られたが、本町として年々投票率が下がっている。以下の点について伺う。

- (1) 投票率向上についての努力は。
- (2) 宣誓書を入場券の裏面に印刷し高齢者が自宅で書くことができるよう負担軽減についての考え。
- (3) 宣誓書の様式をダウンロード方式に。
- (4) 視覚障害者の投票環境は。

選挙管理委員会委員長 (1) 成人式の際に新成人のための啓発用パンフレットの配布、将来の有権者である小学生に対しての「明るい選挙啓発ポスター」の作品募集等の啓発事業等を実施している。また、利便性の向上を図るため、車いすの配置や、出入り口には簡易スロープを用意するなど、投票所の環境整備にも配慮をしている。
(2) 現在の手法は、氏名のみを記載していただくだけで投票ができる

仕組みで、迅速かつ簡易であると考えている。
(3) 入場券に印刷されたバーコードにより、その場で出力される仕組みのため、現段階では考えていない。
(4) 点字で投票したい旨の申し出があった場合の対応として、すぐに点字器を貸与できるように各投票所に点字器を備えつけている。

再質問 投票率を向上させるためには、若い人達にももっと選挙に関心をもってもらうために早いうちから、模擬投票など学校教育の中で推進し、環境づくりをすべきである。

答 選挙管理委員会の中で検討させていただきます。



明野ヶ丘公園展望施設『ピラリ』